

報道機関 各位

## いきいき市民活動情報

山古志中学校の合唱団との交流会担当から、お薦めのイベントに関する情報が寄せられました。

ついては、下記のとおり概要をお知らせしますので、長岡市民の「市民力」や「地域力」を生かした活動を、貴社でぜひ取材くださいますようお願いいたします。

標 題	<b>歌で繋ぐ絆！ 福島しあわせ運べるように合唱団との交流会を開催</b>
日 時	8月5日（土）午後1時～2時
場 所	山古志小中学校（長岡市山古志竹沢乙 284）
内 容	<p><b>概 要</b></p> <p>山古志で毎年歌い続けている「しあわせ運べるように<sup>※1</sup>」。来年度震災20年を迎えるにあたり、山古志同様に「しあわせ運べるように」を歌い続けている福島県の合唱団との交流を通じ、「山古志でなぜ歌い続けてきたのか」を児童・生徒とともに考えます。</p> <p><b>1 内 容</b></p> <p>○交流会「中越地震から20年目に向けて」 震災時の福島や山古志の映像を使ったり、「しあわせ運べるように」の歌詞を用いて交流会を行います。</p> <p><b>2 参加者</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福島しあわせ運べるように合唱団<sup>※2</sup> 約20人</li> <li>・山古志小中学校児童・生徒 約15人</li> <li>・山古志地域住民 約15人</li> </ul> <p>※1 しあわせ運べるように 1995年に発生した阪神・淡路大震災後に神戸市の音楽教師だった臼井真氏が神戸復興を願い、作詞・作曲した楽曲。中越地震後、神戸と山古志の中学校同士の交流をきっかけに、歌詞中の「神戸」を「山古志」に置き換えた「山古志バージョン」を毎年10月23日開催の「山古志の集い」で歌い継いでいる。</p> <p>※2 福島しあわせ運べるように合唱団 東日本大震災後の2013年に結成。2015年に小学校のクラブ活動から地域に開かれた合唱団となり、様々な被災地を訪問し、歌や劇を届けている。メンバーは福島県の小学生から大学生で構成されている。</p>
問 い 合 わ せ	合唱団との交流会担当 山古志中学校 山崎 TEL 0258-59-2172
情 報 提 供 課 名	山古志支所地域振興・市民生活課 五十嵐 TEL 0258-59-2339